

目 次

第1部／報告

人間関係とことば	芳賀 綏	1
1 はじめに		1
2 社会変動と人間関係の変容		2
3 現代大都市型の人間関係と言語生活		7
4 大都市と敬語		9
5 大都市と方言		12
6 結びに代えて		15

第2部／座談会

ことば・人間・社会		18
-----------	--	----

出席者 芳賀 綏 山崎 孝子
白石 清 野村 雅昭
C. D. ラミス
司 会 青井 和夫

1 メイン・レポートの要約		19
戦後の大きな変化——ムラ型社会から大都市型社会へ		19
敬語を使わなければならない場面はふえたが、うまく使えない		20
大切な方言も丸出しにはできない		21
コミュニケーションとコミュニティ		21
災害時の教訓		22
2 人間関係とことばを考える		23
コミュニケーションのむずかしさ		23
「ゆうゆうの里」での体験——少しさびしいが、サッパリした人間関係		23
わずらわしさからの解放と、共に生きることの必要性と		25
異邦人同士の現代社会		26
私の聞きたいこと——沈黙は金か？		28
方言とそれからくる人間イメージ		28
最後に、ことばの階級差		29

3	人口移動の影響は大きい	30
	移動社会——方荘棟字のホモ・モーベンス	30
	都市型生活様式の2類型——旧都市型と大都市型	31
	新開地における3層の住民——地つき、10年以上組、それ以下組	32
	子がかすがいの地域的集団	33
	家庭内でのコミュニケーション断絶——高齢者の孤独	34
4	都市の人間関係を考える際の着眼点	35
	村の生活は感情中立性を、都市のそれは感情性を重んずる？	35
	仕事中心の付き合いか、人間中心の付き合いか	37
	都市の成熟度も問題だ	37
	大企業中心の都市と自営業中心の都市	38
	都会のコミュニティは企業体だ	38
	コミュニティをつくらせない近代建築	39
	建築や都市計画によって人間の付き合いが変わる	40
5	日本の巨大都市の雑多性	41
	さまざまな人の集まり	41
	世代別・住居別・職業別の人間断層	42
	マンション反対運動も起きている	44
	1世代たっても人間関係は変わらないか——同潤会アパートの例	44
	げたばきアパートになると、さらにむずかしくなる	45
	アメリカでも、企業の勤め人はコミュニティをつくらない？	46
6	日本語を振り返る	47
	新しいことばは、だれがどこでつくっているのか	47
	わからない若者ことばと横文字ことば	48
	新かなづかいと旧かなづかい	49
	標準的日本語はどこで決めてくれるのか	50
	標準的日本語の専門家はアナウンサーだ	52
	アナウンサーを再認識せよ	53
	自分と同じ並の人を求めて、無政府状態に陥っている	54
	同時通訳か字幕かの問題	55
7	外国人に日本語を教えてみて感じたこと	57
	日本ほど翻訳の充実している国はない	57
	3種類の文字と、それに音と訓——日本語の豊かさとむずかしさ	58
	外国語上達法は、それを使わざるをえない状況にはいることだ	59
	英語で日本語を習ってくる人はだめ。日本人も英語の勉強には	
	イングリッシュ・イングリッシュの辞書を使い	60
	日本語はほんとうにありがたいことば	60

8	逆に日本語を習って感じたこと	61
	アメリカ英語は故郷喪失の産物	61
	漢字以外に、人間づきあいも覚えないと日本語は話せない	62
	津田塾学生のアメリカ留学体験——お互いの年齢がわからないと	
	日本語は使えない	63
	敬語への反発から敬語の受容へ	64
	敬語の意味するもの——上下関係と、対人関係への敏感さと	65
	若い世代が敬語を使わない理由は	66
9	ことばの階級差	67
	日本には階級によることばの違いがあるか	67
	イギリスやアメリカでは？	68
	日本はことばの階級差の少ない国——だが、戦前の新聞の皇室用	
	敬語はたいへんだった	69
	企業で初めて敬語をたたき込まれる	70
	だが、プライベート（私的）とオフィシャル（公的）の間にある	
	パブリック（共的）な生活場面でのことばがない	71
10	最後に一言	74
	日本とアメリカのスピーチ・コミュニティの違いがあるか	75
	アメリカ人のコミュニティづくりも、日本人の日本株式会社づくり	
	も、国民性ではなくて、歴史の産物だ	76
	人為的規制の下では、いいことばが育たない	77
	機械とことば——これからの最重要問題	78
	ワードプロセッサの影響は大きい	78
	美しい日本語か、能率のいい日本語か	79
	ことばと民主主義とコミュニティ	80
	残された問題	81

第3部／付 論

	われわれはなぜ話さないか	加藤 秀俊	83
一	「話さなければわからない」		83
二	「話さないでもわかる」		86
三	「話してもわからない」		88
四	話しのはけ口		91